

業 種	トラック
取組分野	教育・訓練
テ ー マ	乗務員に対する1ヶ月教育サイクルの実施
取組の狙い	乗務員の教育サイクルを取り入れることにより、階層別の教育を充実させ、組織的な教育体制を構築することで最終的に乗務員に対する教育の充実・強化を図る。
具体的内容	<p>第一貨物株式会社の経営管理部門は、安全運行は最終的に乗務員にかかっているという考えに基づき、乗務員に対する教育は日常的に実施していた。その一方で、乗務員教育する立場の運行管理者等に対する教育は定期的な教育（年に数回程度）となっていたため、教育システムを見直し、以下の取組みを行っている。</p> <p><u>乗務員だけでなく乗務員を教育する運行管理者・補助者も含めた教育を実施</u>するため、階層別に1ヶ月教育サイクルを事業所毎に実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 月初めに、事業所長が統括運行管理者に対して、教育計画に基づいた月毎の教育を実施</li> <li>2. 月上旬に、統括運行管理者が運行管理者・補助者に対して教育を実施</li> <li>3. 月中旬に、運行管理者が乗務員に対して教育を実施</li> <li>4. 月下旬に、運行管理者・補助者が乗務員に対して教育した内容の理解度の検証を個別面談等により実施</li> <li>5. 上記4. の検証結果、理解度の低い乗務員に対して再教育を実施</li> <li>6. 上記実施状況は、安全管理部が「乗務員教育計画・実施結果」のフォーマットを作成し、事業所に配付して実施状況を記載させ、巡回指導時等に確認・把握</li> </ol>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行管理者等に対する教育を日常的に行うことにより、教育を行う技量のレベルアップが図られた。</li> <li>・ 経営トップの安全に対する考えが教育サイクルを通じてさらに乗務員まで浸透する等、教育効果が向上した。</li> <li>・ 事業所における中間管理層を含めた社員全員が、立場に応じた教育を受けることにより、安全に対する協働意識が醸成されるようになった。</li> </ul>
事業者名	第一貨物株式会社 安全管理部 (連絡先：023-623-1427)